


退職者 NO.115-
こだま会報



憲法施行70年 かがやけ第9条

今号の紙面

- ・コラム 散歩道 …… ①
- ・谷根千そぞろ歩き／おすすめの1冊 …… ②
- ・こだま俳壇／予告 …… ③
- ・会員紹介 (岩柳良雄さん) …… ④
- ・輝け高齢期かながわの集い／神奈川県職員九条の会平和の集い／総会案内 …… ⑤
- ・どうなる年金・医療・介護／絵手紙 …… ⑥
- ・愛名やまゆり園・岩元さん争議／人間ドックのすすめ …… ⑦
- ・食文化を楽しむ会「薬膳料理」 …… ⑧



←ここは北信濃北国街道筋。高所作業車による巨木(徳川家光生誕時に幕府より全国の庄屋に下命され、街道の一里塚に植えられた)の枝おろし作業。
 ↓日本最高積雪地点(標柱)のJR飯山線森宮野原駅。写真はいずれも山本秀実氏。



あと退職後やろうと決めていたことが3つあります。1つはウクレレを習い、フォークを弾いて唄えるようになること。これは退職後、県庁の「ハワイ民族研究会」に入れてもらい、1年くらい毎週水曜日の夜、西区の区民センターに通いました。去年、年金者組合の誕生会に呼んでいただき、演奏させてもらい、とっても嬉しかったです。

2つ目は、平和のために活動すること。これは、弘明寺商店街で「核兵器を世界からなくそう」



私が退職後やろうと決めていたことは、施設に入所している母の面会を増やすことです。晴れた日には母の所へ行き、歌を誘い、母の部屋で食事を共にし、楽しい時間を過ごしました。去年の7月5日、他界しましたが、長生きしてくれた母に感謝です。



退職後ライフ

齊田 茂子

1月に台湾に行ってきましたが、『平和と女性人権館』『おばあさんの家』に行き、若い学芸員の方に国連の資料や証言にもとづくものの話を聞きました。内容は言葉にはできないくらい残酷で、戦後もつらい人生を送られていたことを知りました。これからも、こつこつと勉強していきたいと思っています。

あと気になっているのが、慰安婦問題です。吉開那津子さんの『消せない記憶』に、日本兵だった方が女性をどのように集めたのか詳しく書いてあります。

あと気になっていたのが、慰安婦問題です。吉開那津子さんの『消せない記憶』に、日本兵だった方が女性をどのように集めたのか詳しく書いてあります。





谷根千の そぞろ歩きで 若返り

てく・テクの会

レトロ
なまち

東京・谷根千そぞろ歩き

こだま会てく・テクの会企画の「レトロなまち東京・谷根千そぞろ歩き」が昨年の12月1日に行われ、14人が参加。10時過ぎに、JR日暮里駅を後に散策を開始した。参加者の心掛けが良く、うまい具合に雨も上がった。

「陽炎や道灌どのの物見塚」(一茶)

駅を出てすぐの

夕焼けが綺麗な「夕焼けだんだん」

御殿坂を上り、ま
ず向かったのは
『本行寺』。この寺
には、一茶の「陽
炎や道灌どのの物



酒屋の前で小宴会

見塚」や、
山頭火の
「ほっと月
がある東京
に来てゐ
る」の句碑
が建てられ
ていた。

次の『経



観音寺の築地塀前で

王寺』に向かう途中で昔ながらの「佃煮や」があり、早々と寄道し土産を仕入れることになった。経王寺の山門には銃痕の穴が今も残っていたが、これはこの寺が彰義隊士をかくまい、新政府軍の攻撃を受けたためのものである。

赤穂浪士ゆかりの寺『観音寺』へ

『養福寺』で仁王門、六地藏を拝見した後、『朝倉彫塑館』を経て、赤穂浪士ゆかりの寺『観音寺』へと向かった。観音寺では、境内の見事なクスノキ、そして補強のため瓦と粘土で何層にも埋め込まれた「築地塀」を見て回った。この築地塀は登録有形文化財として指定され、台東区まちかど賞も受けている。

(3面に続く)

おすすめの1冊

『女三人のシベリア鉄道』

森まゆみ著

1,890円(税込)

地域雑誌『谷中・根津・千駄木』を創刊した編集者、作家、エッセイイストの森まゆみが2009年に集英社から出版した単行本。

明治から昭和の初めにかけて、与謝野晶子、宮本百合子、林芙美子が、それぞれ世界最長のシベリア鉄道に乗ってパリまでの旅をした。森まゆ



みは自身もシベリア鉄道に乗り、その3人の足跡をたど

りながら、それぞれの作家の旅行先での体験や信条に迫る紀行文を紹介している。なぜ、どのような思いでその旅へ出かけたのか、作家が歩いた街並みや、友人たちとの写真などを織り交ぜながら、当時の旅行で体験したであろう世界状況や、車窓の情景、街の様子、運賃や物価、作家の交流者たちを紹介している。

1970年代、日本の若者が最も安価にヨーロッパに至る方法だったというシベリア鉄道に、いつか乗って、パリまで行ってみたいくなる興味津々の一冊である。(中嶋ひとみ)

こだま俳壇(1月)

目にしみる白山茶花や訃報受く

松尾佐知子

オカリナを吹く人がいてクリスマス

鈴木志げ子

初氷名画座跡の駐車場

田中 一男

冬三日月真つすぐに見て坂登る

島田多嘉子

伊那谷の闇深まりて冬三日月

三井 光子

ゆうらりと心遊ばせ初湯かな

鳥海 敏雄

青春のひとつ炬燵の雑魚寝かな

坂 守

酉年や歳忘れたき歳となり

白井保次郎

朝焼けを映す川面や鴨遊ぶ

柳瀬 節子

波浪予報鳶がくるりと初御空

井村 友彦

季語を知るために柚子湯に浸かりけり

友井 眞言

すべり台たたずむ二人冬三日月

木村 武子

高速道路に手放す農地冬田道

小川 水草

初御空まさおに澄んでどこまでも

横川美代子

年玉や財布の口も固くなり

中村 桂子

年玉に共謀罪を包みけり

講師 太田 土男

(2面より続く)

『夕やけだんだん』で記念撮影

『蜷坂』を下り、『岡倉天心宅跡(旧前期美術院跡)』を経て、『夕やけだんだん』で記念撮影をして、すぐ下



岡倉天心宅跡

にあるお目当ての『谷中銀座』へと歩を進めた。

谷中銀座は、テレビの情報番組やドラマにも取り上げられた昔ながらの町並みで、観光名所となっている。揚げ物・肉などの食べものの店、



みんなミラーになりました

小間物の店など300ほどの間に60軒以上立ち並ぶ、活気ある商店街である。

居酒屋の店先を借りて…

ここで自由行動をとり、各自思い思いにコロッケ、メンチカツなどを食べ歩きし、拳句の果ては酒屋の店先を借り、お燗酒に琥珀ビールとちよつとした宴会を開いてしまった。うまい酒で楽しいひと時を過ごし、ほろ酔いとなったところで、最終目的地である『根津神社』へと向かった。

根津神社は日本武尊が創建したと伝えられ、現在の場所に遷座したのが五代將軍綱吉といわれている。参拜の後、予定の13時半ごろ根津地下鉄駅の入り口で解散した。

今回の散策は、歩きながらのお喋りや冗談、食べ歩きにお酒と内容が濃く、皆さん十分に楽しまれたのではないのでしょうか。

「谷根千のそぞろ歩きで若返り」

(菊田 勲)

予告!! 予告!! 予告!!

●歴史教室(散策)

とき 3月16日(木)
集合 10時JR鎌倉駅(若宮大路側) 14時頃解散
ところ 太平記の舞台になった鎌倉(鎌倉宮・永福寺跡・浄妙寺等)
会費 500円(資料代・保険料等)
申込先 こだま会事務所 電話045(212)3179 FAX045(212)3178

●俳句サークル「こだま句会」

月例句会(毎月第2木曜日13時~)
3月9日/4月13日
ところ 県庁本庁舎6階共用会議室
指導 太田土男先生(俳人協会)
会費 800円
申込先 こだま会事務所045(212)3179 または井村友彦0463(81)4493

●こだま企画「てく・テクの会」

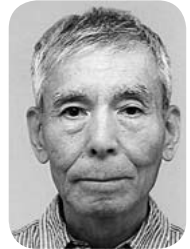
テーマ 「小網代の森・春ハイク」
とき 3月30日(木)(雨天中止)
集合 京浜急行「三崎口」改札前集合10時30分(こだま会の旗の下に集合)
(電車)京急「三崎口」10時21分着(横浜駅発特急三崎口行9時27分)

内容 小網代の森約1.3kmのコース(詳細は同封のチラシ参照)
費用 交通費等各自負担、お弁当持参、軽装で
申込先 3月21日までにこだま会事務所045(212)3179へ

安達太良山のふもとの智恵子の生家を旅した時に描いた水彩画



-50-



昭和40年(1965)に県に就職して以来ずっと県税職場にいました。

当時は、組合も地域支部になる前で、部局ごとの総務支部でした。

希望は他部局へ

行政需要の増加に合わせて団塊の走りとして、県税事務所にも若者が配属されて活気がありました。

ただし、転勤が再び税務職場になると、他部局への希望が実現されないことで、不満がつのりました。その結果、

2カ所の県税職

税務の仲間とともに

場を経験した次には、他部局への転勤に変っていきました。
千人近い税務職員による県の財政確保が必要でしたので、他部局へ転出した方の後任に

必然的に再び新採用者が配置されるようになりました。

税務手当・その他

その代償ではないのですが、国税職員の給与に見合う税務手当が支給されてきました。権力行政の厳しさの補償的側面がありました。

給与の改定がされて数年後には、国税と県税の税務手当に格差が広がりました。

「国税に準拠する」との国会の付帯決議の実行を迫り、手当の増額を実現してきました。

岩柳 良雄さん

その手当も、全国的には日額化の大幅縮小に後退するなかで、神奈川県などで現状維持をさせてきました。私たちの採用時には吏員・雇員の制度があつて、試験に受かつて吏員になるのが5割程度でした。青年部を先頭に、

制度の廃止をとりくみました。さらには、「主査昇格の差別をなくせ!」「3等級まではだれでも昇格を!」と声を上げてきました。

ポーンナス要求もプラスアルファアがつき、高度成長に合わせ

て、ベースアップも3割近くあつたこともありました。

働く条件の改善めざし

でも税務の仕事は、いつも厳しい権力行政の面を持っていました。休日に開庁しての自動車税の出張徴収・休日窓口徴収。

日常の公用車両を使つての市町村内の出張徴収。夜間検査・夜間徴収・差押・公売などです。

これらに対して、休日出勤者の制限や、エンストする古い自動車の更新、夜間の仕事の労働条件などを要望してきました。

税務の仲間に乗って、全員アンケートを行い、交渉結果を『税務協ニュース』で知らせてきました。職場のみなさんから応援を受けてがんばることができました。

退職後は絵や旅行

退職してからは総務支部の仲間と年に数回、国内の温泉旅行を楽しんでいます。

上の絵は、東北の安達太良山のふもとの智恵子の生家へ旅したときのひとこまです。

岩柳 良雄

第12回輝け高齢期かながわのつどいin湘南



藤沢市民会館で開かれた集い

安心して暮らし続けられるまちづくりを

高齢者の目の前の困難を解決するため行政を巻き込んだとりくみをしよう。③地域で高齢期運動を団体間の協同の運動にしよう。④第31回日本高齢者大会・沖繩に向けてとりくみを強化しよう。

パワーポイントを活用した今回の運営は、わかりやすいと好評でした。リレートークは、医療生協かなが

わ、年金者組合藤沢支部、茅ヶ崎市社保協、県商工団体連合会共済会、土建湘南支部シニアの会、新婦人藤沢支部の6団体の代表が活動を報告。午後はフラダンス、腹話術、南京玉すだれ、太極拳、トランペット演奏、合唱団の歌などの演芸で楽しみました。(鳥居伸太郎)

神奈川県職員九条の会が「平和の集い」

昨年12月10日に開催した、「神奈川県職員九条の会 平和の集い」は、講師を神奈フィル争議の主任弁護士・田淵大輔さんにお願いしました。

伝えよう 現憲法の大切さ



波止場会館で開かれた集い

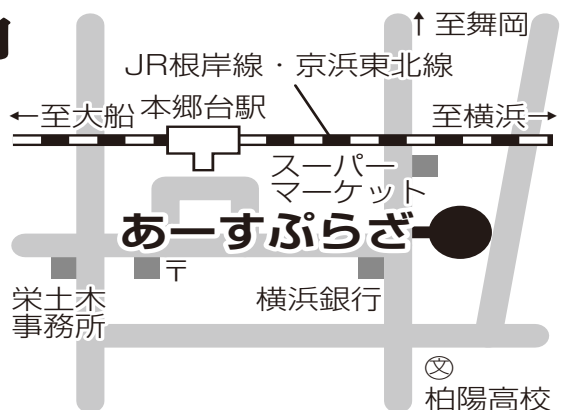
テーマは「安全保障法制施行で何が変わったか」ということでしたが、田淵講師は、「安倍政権がやってきたことは憲法全体を骨抜きにすること。彼らにとって自衛隊の南スーダン派遣は憲法改正の最後の一里塚に足を踏み出そうとするもの」とズバリと踏み込んだ視点で話しました。

「自衛隊の武器使用が自己防衛から安全のための活動、駆けつけ警護に拡大」(政府軍との戦闘の恐れ)「冷戦終結後、PKOの性格が変わり、中立の立場でなく住民保護のため武器使用することになっている」「PKOの運用と考えると、『非国連型の平和維持活動』にも参加でき(6面に続く)

第33回 こだま会定期総会のご案内

とき 2017年6月23日(金) 10時受付 10時30分~12時30分
ところ 本郷台 あーすぷらざ (横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1)

神奈川県立市民かながわプラザ1階
☆終了後レストラン「メルヘン」で懇親会。
☆懇親会 12時45分~14時30分。 ☆会費2000円。
☆今回は役員改選の総会です。
☆詳細は次号『こだま会報』をご覧ください。



(5面より続く)

るようになっていく」「なぜ南スーダンに自衛隊を派遣するのか。それは、安保法制に基づく自衛隊の活動の既成事実を固りたいからだ。自衛隊が武器使用をしても(憲法九条に反する武力の行使)、国民の生活は変わらないと憲法改正の心理的

どうなる 年金・医療 ・介護 — 年金 —

介護保険制度ができてから17年。安倍内閣は昨年の国会最終盤に、「年金カット法」など医療・介護保険の関連法案を強行採決しました。

2012年に誕生した安倍政権は、2013年度から社会保障制度の自然増削減を再開し、70〜74歳の医療費窓口負担の引き上げ、介護保険の要支援者の在宅・通所サービスの保険給付外し、介護報酬の削減、生活保護費の切り下げなどを行い、2013〜16年の4年間で削減した自然増分は1兆3200億円ものぼります。何がどう変わったのでしょうか。

ハードルが下がって行く」「この先に待つのは『お試し改憲』だ。生活は変わらないと感じていると次は『本格改憲』となる」と指摘。

いま、愛国心教育の強制、報道機関への介入、言論規制の動き(公共施設使用への「中立性」の名による規制など)、公務員労組攻撃など、

賃金が下がれば、物価が上昇していても賃金に合わせて年金を下げる「年金カット法」

公的年金は、物価の変動に合わせて、支給額を変えています。これまでは物価と賃金が下がっても物価分だけしか年金支給額を減らさない、という仕組みでした。しかしこれからは賃金が下がれば、たとえ物価が上昇していても賃金に合わせて年金を下げるというのが今回の改定です。

新たに導入された「賃金マイナススライド」は、引き下げられた水準

憲法の実態が壊されてきています。自民党は、「自民党の憲法改正草案を憲法審査会の検討の基礎にはしない」と言っていますが、憲法改正草案を捨ててはいません。

田淵さんは、「このまま進めて良いのか」という声が大きくなるかどうか。一人でも多くの人に話し掛けて

の年金が将来世代に引き渡されることになるので、政府の言う「将来の年金確保」というのは「偽り」です。年金抑制の「マクロ経済スライド」

の未実施部分を、翌年以降に持ち越す「キャリアオーバー」の導入で、消費税が10%に増税されたときに年金が上がらないどころか下がるという「高齢者にとっては悪夢のような事態」が起きると指摘されています。今回の法改定で、物価と賃金で下落幅がより大きいほうに合わせて年金も減額になります。試算では年金支給額は現在よりも5・2%減少。

絵手紙



奥津弘久さんの作品

2014年のデータにこの新たなルールを当てはめると、国民年金は年間約4万円減、厚生年金ではなんと年間約14・万円も減る計算になるといわれています。さらに、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の株式運用比率を倍増

行きましょう」と講演をまとめました。参加者からは、「PKOはずいぶん変わったと思う」「国民の世論がもっと盛り上がってこない」と言われることをやって行かないといけないということですね」など、率直な意見が出されました。(佐伯義郎)

させ、年金が株価つり上げの道具にされています。

老後の生活の基礎となるように、低年金の底上げ、最低保障年金の導入、現役世代の雇用・賃金の立て直しなど「本当の改革」が求められています。(次号に続く)(鳥居伸太郎)

〈訂正とお詫び〉

本紙前号(114号)4面「会員紹介」(小川達子さん)の記事のなかに誤りがありました。次のように訂正しお詫びいたします。

- ①1段目の5行目。「横浜大空襲で一番被害が多かったのは5月25日」を「横浜大空襲で一番被害が多かったのは5月29日」に。
- ②2段目の1行目。「倉庫がぼつんと残っていた」を「金庫がぼつんと残っていた」に。
- ③4段目の14行目。「叔母たちは途中の焼夷弾の直撃で皆亡くなって」を「叔母たちは5月29日の焼夷弾の直撃で皆亡くなって」に訂正します。

8面の「田中和子さんの作品」(絵手紙)は(ペン画)に訂正します。

岩元さん不当「自動退職」撤回を

現在の状況

〔横浜地裁の状況〕

かながわ共同会・愛名やまゆり園の岩元さんの半年にわたる「現職復帰」にむけた裁判所職権による和解協議は、かながわ共同会側の「支援員業務としても事務職としても現職復帰は受け入れられない。非常勤でも無理」との回答で和解不成立となりました。今後、判決に向けて、準備書面での審理、証人調べ、結審、判決へと進みます。夏頃に判決となるでしょうか。

〔地裁に向けて「公正な判決を求める署名」を集約中〕

個人3455筆、団体94筆（1月10日現在）



〔横浜地裁要請〕

1月17日、書記官要請を実施しました。

〔運動面〕

本厚木駅等宣伝行動（12月13日）、かながわ共同会要請（12月16日）、県議会派要請（12月）を行いました。今後も、適宜行う予定です。

神奈フィルを良くする会

楽しかった「ニューイヤースクンサート」



神奈フィル争議は昨年の4月8日、勝利和解を勝ち取りました。そのお礼の意味を含めて、神奈フィルを良くする会は1月30日、「ニューイヤースクンサート」を戸塚区民文化センター「さくらプラザ」で開催。ゲストにソプラノ歌手の八重樫節子さんを迎え、華やかで楽しいコンサートになりました。

（杉田 厚）

アフラックのご案内 団体扱い

新生きるためのガン保険Days ちゃんと応える医療保険EVER

☆退職者こだま会会員の方及びご家族の方は「団体料率」でお申込みいただけます。

☆県在庁中アフラックの保険加入済みの方は、退職後も「団体料率」で継続いただけます。

アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)

*募集代理店
(有) 神奈川ユニオンアシュアランス
〒252-0244 相模原市中央区田名4417
フリーダイヤル 0120(61)3243

*引受保険会社
アフラック町田支社
〒194-0021 町田市中町1-2-4
日新町田ビル3階

*当社保険に関するお問い合わせ、各種手続き

*コールセンター：0120(5555)95

こだま会の人間ドックのお勧め

隠れた病気を見つける人間ドック

人間ドックは隠れた病気を見つけます。手遅れだったということがないように、自治体の定期健診をはじめ、精密な人間ドックを定期的に受診されることをお勧めします。

病院等	所在地	電話	最寄駅
かながわクリニック	横浜市中区元浜町4-32 県民共済馬車道ビル 神奈川県結核予防会	045(201)8521	MM線 馬車道駅
京浜健診クリニック	横浜市金沢区柳町3-9	045(782)3222	京急線 金沢八景駅
けいゆう病院	横浜市西区みなとみらい3-7-3	045(221)8291	MM線みなとみらい駅
湘南健診センター	平塚市宝町10-4 スポーツプラザ 神奈中1階	0463(21)3811	JR平塚駅

★健診内容・料金等は各健診機関にお問い合わせを。

★申込みの際「こだま会会員」であることを必ず申し出てください。

食文化を楽しむ会

「風邪を乗り切る薬膳料理」に挑戦

腕も胃袋も大満足



雪にもめげず10人が参加

「食文化を楽しむ会」は昨年の11月24日、「風邪予防」をテーマに薬膳料理教室を開催。当日は、なんと横浜は54年ぶりの初雪。朝目覚めると白いものが天から舞い降りている。本物の雪だ！雪にもめげず、予定していた参加者10人全員がそろった。

2人組で献立を分担

しかし、ここでトラブルが発覚。講師の亀井禎子さんが、家の冷蔵庫に肉とエビの食材を忘れて取りに行くことに。参加者は不安になりつつ2人組に分かれ、献立を分担。調理にかかった。献立は、①きのこご飯、②菊花蕪のすまし汁、③豚肉の揚げ物大根おろし添え、④ゆでエビのマヨネーズソースがけ、⑤キャベツのおひたし、⑥金針菜、蓮根、人参、大豆、ひじきの煮物、⑦枸杞子と胡桃の押し菓子と盛りだくさん。



みんなのアイデアと努力が結実しました

レシピと格闘

亀井さんが戻るまでの間、レシピを穴があくほどみながら格闘。そのせいか、でき上がった料理は、全員のアイディアと努力が結実。今回のテーマは「風邪予防」。それこそ外は雪だが、内ではレシピと食材と格闘

しながらの熱いたたかいが繰り広げられた。12時45分、きのこご飯が炊きあがり料理が完成。

「おっっっー！」 「おっっっー！」

食べ始める。一箸ひとはし食べるたびに出る言葉は、「おいしい！」「おいしい！」の連発。味もさながら、菊花蕪のすまし汁に浮かぶ蕪は、蕪の両脇に箸をおき、包丁でバラバラにならないように切る工夫、まるで本物の白菊のように。煮物は、人参や蓮根を大豆の大きさに合わせ切る工夫が。そのせいか、味も均等に染み渡り、箸の運びもスムーズ。



レシピをみながら格闘中

料理のひとつ工夫に話が弾み、腕も胃袋も満足の薬膳料理でした。

* * *

最後に、風邪予防の食材や漢方を使った多彩なレシピを考え、的確に指導していただき、片付けのフットワークも軽い亀井さんにはいつも感謝。次回(7月ごろ)は夏バテ防止の薬膳料理。お楽しみに。

(小島八重子)

会報No.115
2017.2.15

編集・発行
神奈川県職労連退職者こだま会
発行人 植木真理子

〒231-8588
横浜市中区日本大通り1
県庁本庁舎6階

TEL 045-212-3179 (代表)
FAX 045-212-3178 (代表)
URL http://kodamakai.sakura.ne.jp/